

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04020030

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15	環境の保全	事業優先度	A		
単位施策	4	ごみ・し尿処理の推進	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)		
事業名	西紋別地区環境衛生施設運営事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	4 住民生活課		
事業主体	町		関係課	#N/A		
事業指標	し尿処理量		関係課	#N/A		
事業目標	施設の安定運営		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	有 廃棄物処理法		
住民協働	無		関係個別計画名	有 一般廃棄物処理基本計画		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	一部事務組合にて広域し尿処理を行っており、 応分の組合運営分担金を支出するものである。	組合運営分担金	組合運営分担金	組合運営分担金	組合運営分担金 MICS事業の検討	組合運営分担金 MICS事業の検討	
	事業費(千円)	123,110	24,432	24,432	24,432	24,907	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	123,110	24,432	24,432	24,432	24,907	24,907	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	98,626	22,629	22,944	28,471	24,582	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	98,626	22,629	22,944	28,471	24,582	0	
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) ・町単独での処理が困難な、し尿処理を広域的(西紋別地区)に実施雄武町の応分の組合運営分担金を西紋別地区環境衛生施設組合に支出  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・町単独での処理が困難な、し尿処理を広域的(西紋別地区)に実施雄武町の応分の組合運営分担金を西紋別地区環境衛生施設組合に支出  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・町単独での処理が困難な、し尿処理を広域的(西紋別地区)に実施雄武町の応分の組合運営分担金を西紋別地区環境衛生施設組合に支出  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・町単独での処理が困難な、し尿処理を広域的(西紋別地区)に実施雄武町の応分の組合運営分担金を西紋別地区環境衛生施設組合に支出  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・町単独での処理が困難な、し尿処理を広域的(西紋別地区)に実施雄武町の応分の組合運営分担金を西紋別地区環境衛生施設組合に支出  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	施設の安定運営	施設の安定運営	施設の安定運営	施設の安定運営	施設の安定運営
	年度達成率	93%	94%	117%	99%	0%	
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	18%	37%	60%	80%	80%
	備考欄						

事業名	西紋別地区環境衛生施設運営事業	評価者	管理職 職氏名	住民生活課長	新谷 朋人
		評価者	作成者 職氏名	環境衛生係長	武藤 知憲

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内で発生するし尿及び浄化槽汚泥	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	し尿等処理量		
【抱える課題やニーズは】	町内で発生するし尿及び浄化槽汚泥の適正処理		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	分担金支出による施設の安定運営		① し尿等の処理量	目標年度	平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	施設の維持管理、し尿の継続処理			目標値	1,324 kl
				実績値	1,324 kl
		達成度		100.0 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	組合運営経費(分担金)の支出	②	目標年度		
	MICS事業の検討		目標値		
			実績値		
			達成度		
	組合運営経費(分担金)の支出	一部事務組合にて、し尿等の処理を行っており、応分の組合運営経費を分担金として支出しています。			
	MICS事業の検討	現施設の老朽化により、西紋別地区環境衛生施設組合における新たな、し尿処理施設整備に関して構成市町村による協議を行い、雄武町が実施主体となり、興部町及び西興部村とともに新たな施設整備を行うことが決定し、構成町村による協議を進めています。			

■事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町単独でのし尿処理は、困難であり、一部事務組合の広域処理が必要であると判断します。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	町で発生する、し尿等は、全て適切に処理されていることから、事業は有効であると判断します。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	広域として処理していることから、町単独で行うよりも、コスト削減が図られており、コストに見合った効果は得られていると判断します。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input checked="" type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由	下水道処理区域以外のし尿処理ではありますが、全ての町民の快適で清潔な生活環境を推進するものであり、公平性は保たれていると判断します。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
町内に生じるし尿等の処理を広域で行うものであり、適正に処理されていることから、今後も計画通り事業を進めることが適当であります。また、MICS事業に対する構成町村協議も計画どおり進められていると判断します。		

今後の展開方向  
(Action)

<b>継続/現状維持</b>		
町民が快適で清潔に生活環境を維持するためにも、継続して事業を進めることが適当であります。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
  - 終了     休止     廃止